

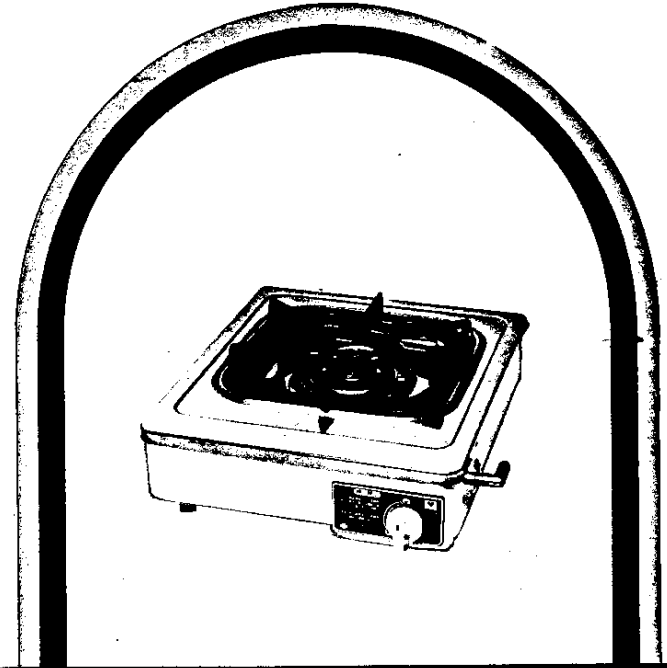


# ガスコンロ 取扱説明書

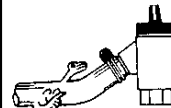
10-134型

保証書付

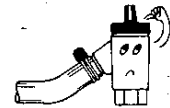
型式名 LC1000



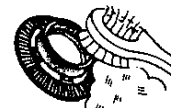
## ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も  
とどき点検  
よいゴム管を  
カッチリと



ガス器具を  
お使いになった  
あとは必ず  
もとコックも  
閉める習慣を



毎日使う  
ガスコンロの  
バーナーなど器具も  
とどきお手入れを



ガス器具は  
ガスの種類にあった  
正しいものを

### 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本 社	大阪市東区平野町5丁目1	大阪 06 (202) 2221
南 支 社	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	大阪 06 (652) 8001
北 支 社	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	大阪 06 (301) 1251
堺 支 社	堺市住吉橋町2丁目2番19号	堺 0722(38) 1131
北 摂 支 社	高槻市藤の庄39番8号	高槻 0728(71) 0361
阪 神 支 社	西宮市和上町4番11号	西宮 0798(25) 3101
東 神 支 社	東大阪市船場2丁目3番17号	河内 0729(62) 1131
京 阪 支 社	枚方市西田基町16番17号	枚方 0720(41) 1251
神 戸 支 社	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	神戸 078(576) 5231
京 都 支 社	京都市中京区烏丸通御池角	京都 075(231) 8151
京 良 支 社	奈良市学園北2丁目4番1号	奈良 0742(44) 1111
和 歌 山 支 社	和歌山市本町1-1-1	和歌山 0734(31) 2481
姫 路 支 社	姫路市神屋町4丁目8	姫路 0792(85) 2221
東 播 支 社	加古川市加古川町栗津2-9-1	加古川 0794(21) 1801
豊 岡 支 社	豊岡市三坂町6丁目57番地	豊岡 07952(3) 2221
洛 南 支 社	藤津市堤分町字宇尾6-8-0-1	藤津 0775(62) 5311
彦 根 支 社	彦根市大東町1-1-1	彦根 0749(22) 3131
(長 浜 営 業 所)	長浜市朝日町3番4号	長浜 0749(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

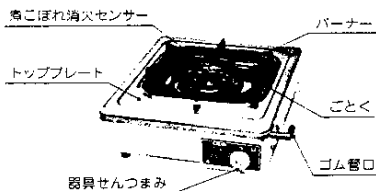
大阪ガス株式会社

●ご使用前に必ずこの説明書をよく読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

このたびは、大阪ガスのご訪問をお喜びいただき、ありがとうございました。  
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

## ■各部の名称



## ■特に注意していただきたいこと

### ■使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。  
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを必ず確かめてください。

メーカー型式	●都市ガス用6C
ガスの種類およびグループ	●都市ガス用6A
ガス消費量	●都市ガス用13A
製造年月日および製造番号	●LPガス用
製造業者名	

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

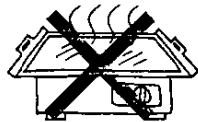
### ■用途についてのご注意

- 調理以外の用途（炭・焼炭おこし・衣類の乾燥など）には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



### ■市販の補助用具使用についてのご注意

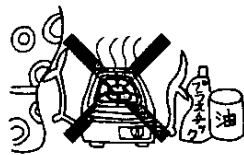
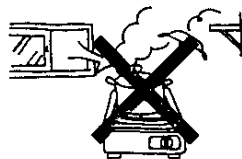
- 極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ枠、または不良の補助用具などで炎をふさいで使うことはさけてください。不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。



- 市販のアルミ製する受けをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。  
しる受けに十分なじませてください。浮き上ったり、しる受けより小さいものを使うと不完全燃焼の原因になります。

### ■使用場所についてのご注意

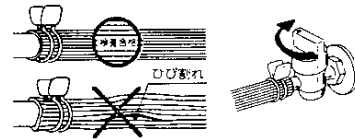
- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が風で吹き消えることがあります。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。燃え移る危険があります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
- 家具、可燃性の壁などからは十分離して使用してください。（詳しくは3ページをお読みください。）
- 換気（給気・排気）が十分できるところに設置するが換気できるようにして使用してください。



### ■使用上のご注意

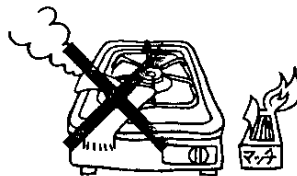
#### ○ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。  
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、時々とりかえてください。（おとりかえの目安は約3年です。）  
ゴム管が古くなりますと、元せいや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。
- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元せいをしめてください。
- 使用後は必ず器具せいを閉じ、消火したことを確かめてください。
- 使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。



#### ○火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。



#### ○外出などについてのご注意

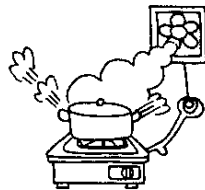
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。パーナーの火が風や煮こぼれなどで消えたり、カラツキになるなど思わぬ事故の原因となり危険です。
- 天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。温度が上がりすぎると油が自然発火し火災の原因となります。

#### ○やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。

#### ○換気のご注意

- ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。ガスが正しく燃えるためには、ガスの6倍～10倍の空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



#### ○ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せいを閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。（ご注意）  
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し）  
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

#### ○異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず直ちにご使用を中止（器具せいを、ガス元せいを閉止）して十分な点検をお願いします。  
〔故障・異常の見分け方と処置方法については5ページをお読みください〕

#### ○日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。（詳しくは4ページをお読みください。）
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

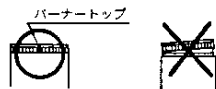
## ■ 器具の設置

### ■ 設置前の準備と確認

- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、正しく設置してください。
- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

### ○ 部品の取り付け

- トッププレートの上にごとくを正しくのせてください。
- バーナートップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。またバーナートップは傾いたりしないよう、2～3回バーナートップを回して確実にセットしているかどうか確認してください。

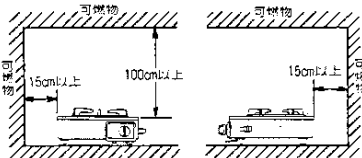


### ■ 設置上のご注意

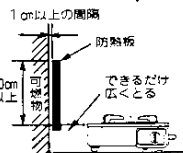
- 丈夫で水平なガス台に設置してください。
- 耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。

### ○ 周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合

- 器具の側面及び背面は、木製のような可燃性の壁(ステンレス板などを直接張り付けた可燃性の壁を含む)から15cm以上離してお使いください。また上部は器体上面から100cm以上離して使用してください。(但し不燃性の場合は80cm以上)一火災予防条例で定められています。

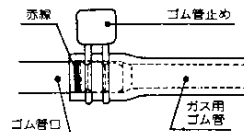


- 可燃性の壁面から15cm以上はなせない場合は、別売の防熱板を取り付けて使用してください。



### ○ ゴム管の接続

- ゴム管はホースエンドの赤線まで差し込んでしっかりとめてください。
- 9.5mmφ(内径9.5mm)のゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具のホースエンドとも赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。ゴム管止めですっきり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生ずることがあります。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短くし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
- ゴム管の継ぎたしおよび二分岐はしないでください。



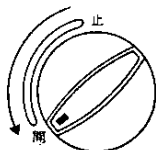
## ■ 使用手順

### ■ 点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。

### ■ 点火

- 器具せんつまみを押しながら「止」の位置より左へ止まるまでゆっくりまわす「カチッ」と音がしてバーナーに点火します。
- 点火を確認してから数秒間「煮こぼれ消火センサー」が動くまで、そのままの位置で器具せんつまみを保持してください。途中で手を離すと点火しないことがあります。



### 〔ご注意〕

- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。

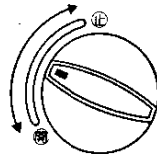
- 万一点火しないときは、器具せんつまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。あまり早く回すと点火しないことがあります。

### ■ 空気調節

- 空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのままお使いください。

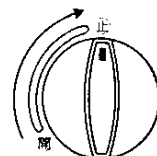
### ■ 火力調節

- 器具せんつまみを「開」と「止」の間で適当なほおに加減してください。「開」方向へまわすと火力は強く、「止」方向へまわすと火力は弱くなります。



### ■ 消火

- 器具せんつまみを右へいっぱい「止」の位置まで確実にまわして消火してください。  
〔ご注意〕
- 必ず火が完全に消えたか確認してください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、数秒程まわってから点火してください。
- 長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、器具せんつまみを止めるだけでなく、必ずガス元せんを止めてください。



### ■ 煮こぼれ消火センサーについて

- 煮こぼれ消火センサーは煮こぼれや風などで火が消えた時にガスを自動的に止める装置です。

### ■ 煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法

- 使用中バーナーが消火したときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置へ戻し、さらにお部屋のガス元せんも「止」の位置に戻して5ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」および、次の方法により処置してください。

### ● 処置方法

- バーナーの炎が消えたときには、煮こぼれ消火センサーが働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。(約30秒～1分程度)バーナーの消火に気づいたときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置へ戻してください。
- 再点火されるときは、周囲に生ガスがなくなるまで少し(約1分)待ってから「使用方法」に従って点火してください。

## ■ 使用時のご注意

- 煮こぼれは器具を早くいためますのでご注意ください。煮こぼれた時は、必ず完全にふきとってください。煮こぼれて炎口がつかると炎が逆流して、器具の内配で燃えるおそれがあります。
- 点火の際は、こんろなべやヤカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。

## ■ 日常の点検・手入れ

### ■ 点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。

### ■ 点検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてあります。
- ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ゴム管が古くなってひび割れたり、差し込み口がゆるんでいるためガスがもれていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか。
- バーナートップ、ごとくなどが正しくセットされていますか。
- バーナートップの炎口が煮こぼれなどで詰っていませんか。
- 煮こぼれ消火センサーの先端が煮こぼれなどで汚れていませんか。

## ■お手入れ

- 器体の表面・トッププレート・ごとく
- ・そのつどお手入れしていただくのがいばんです。蒸気などの汚れは湿った布でふきとってください。液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としたり(器体の場合)、洗剤をふくませたナイロンたわしで洗っていたら(器体を除く場合)、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気を十分ふきとってください。

### 〔ご注意〕

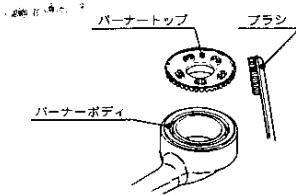
- ・お手入れのとき、器体内部機構に水がかからないようにご注意ください。

### ○バーナー

- ・バーナートップをとりはずし、ブラシやキリ状のものでそうじしてください。目づまりなどで悪くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。バーナーを目づまりさせたまま使用すると、不完全燃焼をおこすことがあります。

### 〔ご注意〕

- ・バーナートップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は必ず乾いた布で十分水気をとっておいてください。



- ・蒸気ほれ消火センサーを固いブラシなどでみがかないでください。故障の原因になります。また蒸気ほれなどはすぐふき取るように習慣づけてください。性能が十分発揮できないだけでなく、寿命も縮めます。

## ■故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象										処置方法	参照ページ
	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない	器具せんで火がつかない		
ガス元せんの開け忘れ	○										器具せんで一旦閉じてからガス	—
ガス元せんの開き不十分	○	○									元せんで全開にする	—
ゴム管内に空気が残っている	○	○								○	ガスが正常に出るまで十分注圧しながら点火操作をくり返す 他の器具も同様の場合は点検を依頼する	3
ガス圧が適切でない	○	○	○	○	○							—
ゴム管の折れ曲り、つぶれ	○	○	○							○	ゴム管の折れ曲りをなおす	—
バーナーの炎のつぶり	○	○	○	○	○	○					つまみを取り除く、それでも直らないときは点検を依頼する	5
バーナートップの取り付けが悪い	○	○	○	○	○	○	○	○	○		正しく取り付ける	3
点火操作が適切でない	○	○									「使用方法(点火)」参照	3
点火装置の電極部の汚れ	○										汚れをふきとる。それでも直らないときは点検を依頼する	—
点火装置の故障	○										点検を依頼する	—
器具せんの故障	○									○	〃	—
器具の銘板と使用ガスの不一致	○	○	○	○	○	○					銘板を確認し点検を依頼する	1
立消え安全装置の故障	○										点検を依頼する	—
立消え安全装置が作動	○										「使用方法(点火)」参照の上正しく操作する	3

## ■長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、おまめになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンドなど)にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

## ■アフターサービスのお申し込み

### ■サービスのお申し込み

- 5ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ①品名……(コンロ)
- ②品番……左側面に貼付してあります。
- ③現象……(できるだけ詳しく)
- ④道順……(できるだけ詳しく)

(例)

(4)10-134(U)

大阪ガス株式会社100

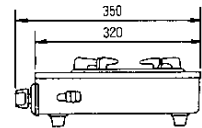
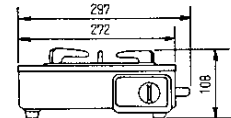
### ■転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびL.P.ガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

### ■保証書について

- この器具には保証書がついています。このコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。

## ■寸法図と仕様一覧表



器種名	一口コンロ		
品名	10-134(U)		
点火方式	圧電点火		
外形寸法	高さ108mm×巾297mm×奥行350mm		
重量(器具)	2.5kg		
安全装置	蒸気ほれ消火センサー		
使用ガス	1割当りのガス消費量	ガス接続	
使用ガスグループ			
都市ガス用	6 C	3.100kcal/h	内径9.5mm
	13 A	3.100kcal/h	
	6 A	3.100kcal/h	ガス用
L.P.ガス用	0.240kg/h		ゴム管

### おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんで閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。